

パソコン盗難による個人情報の流失について

国保坂下病院の医療技術職員（28 歳、男性）が市内加子母の自宅駐車場に自家用車を駐車していたところ、右側後部座席の窓ガラスを割られ、車中に置いてあったパソコン（個人所有）が盗難に遭いました。

パソコンの中には、2 種類の業務（摂食機能療法と言語療法）に関する個人データ合わせて 99 名分の個人データが入っていました。

■ 盗難被害の覚知状況

平成 21 年 2 月 26 日、朝 6 時頃、当該職員が中津川市加子母の自宅から出かけようとしたときに、右側後部座席の窓ガラスが割られている事に気付いた。

同日 6 時 30 分頃、中津川警察署付知交番に連絡し、被害届を提出。

■ 流失した個人データの内容

① 摂食機能療法患者データ

- ・ 坂下病院患者の摂食機能療法対象の方の氏名、年齢、担当医、病名、現病歴。
56 名分

② 言語療法データ

- ・ 言語療法対象の方の氏名、現在の症状、訓練方法の紹介。43 名分

■ 個人パソコン使用の目的

- ・ 個人パソコンの業務上の使用は禁止していますが、病院内で処理しきれない報告書などを休日や夜に自宅で作成していたものです。

■ 対応の状況及び今後の対応方針

（患者さんへの対応）

- ・ 患者さん等関係された方へは 2 月 26 日に電話連絡し、経過説明とお詫びを行いました。
- ・ 2 月 27 日から職員がお詫び文を持って各ご家庭を訪問し、直接お詫びをします。

（組織として）

- ・ 2 月 26 日、緊急に情報セキュリティ委員会（委員長：副市長）を開催し、経過の把握と患者さんへの対応方法、個人情報保護の徹底対策を確認しました。
- ・ 2 月 27 日付けで副市長から全職員に対して事件の内容報告および、当事者意識を持って再度情報管理の厳正化を図るよう周知徹底します。

【お詫び】

この度は、坂下病院で生じた個人情報の流失につきまして、関係者ならびに市民の皆様にご迷惑をおかけすることになり、心よりお詫び申し上げます。

今回の情報の流失につきましては、このような事態に至った要因を調査致し、二度と同じ不祥事が起こらないよう、職員の教育・指導を徹底してまいります。

市民の皆様にご安心・信頼される医療サービスの提供に努めて参る所存でございます。

国民健康保険 坂下病院長 高山 哲夫

お問い合わせ先

国保坂下病院事務局 担当者：事務局長 井戸良二

電話：0573-75-3118